

# 風早の本だより

北条高等学校図書委員会

《11・12月号》

平成28年12月13日発行

期末考査も終わり、今年も残りあとわずかになりました。2学期は体育大会や文化祭など多くの行事もあり、充実した時間を過ごせたことでしょう。冬休みのクリスマスやお正月を心待ちにしている人もたくさんいると思います。今年の反省をして、次の目標を立て、来学期もがんばりましょう。冬休み期間も図書室は開いていますので、是非訪れてくださいね。図書室で新しい目標が見つかるかもしれません。

## 先生方のおすすめの本とメッセージ

原 成生先生（教科：商業）

### ① おすすめの本

書名：「必ず出会える！人生を変える言葉 2000」

西東社編集部編

一日一つずつ、胸に刺さる言葉のシャワーを浴び続ければ、ネガティブな考え方ができない人も、ポジティブな感情が習慣化するのではないのでしょうか？この本に書かれている言葉を一日に一つずつ読んでいっても、5年間読み続ければ、1年365日×5年=1825の元気をもらうことができます。またこの本の言葉は、名言・格言だけではなく、現代の歌や小説、マンガ、手紙、発言など幅広いジャンルから心に触れる言葉が紹介されています。

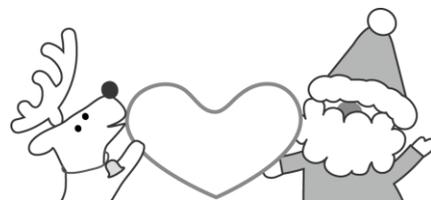
### ② 北条高校生にメッセージ

**一日けいこを休むと自分が気づく**

**三日けいこを休むと師匠が気づく**

**一週間けいこを休むと観衆が気づく**

はじめはちゃんとやっていたことを最近さぼっていませんか？



例えば、時間を守ること

気持ちの良いあいさつをすること

掃除を一生懸命すること

時間を守ることにしても、あいさつをすることにしても、掃除を真面目にすることにしても、すべては大事な場面で自然にできるようにするため。

なにごとにも自分のためです。

この本を読むことで、昨日より一つ成長できた自分を実感し、前向きな生き方を身につけてほしいと思います。

注) この本は図書室にあります。是非、手に取ってみてください。

部村 知加先生（教科：福祉）

### ① おすすめの本

書名：「自閉症の僕が跳びはねる理由」

著者名：東田 直樹

人との会話が困難で、気持ちを伝えることができない自閉症者の心の声を、著者が13歳の時に記した本です。障がいを個性に変えて生きる純粋でひたむきな言葉は、当事者や家族だけではなく、海をも越えて人々に希望と感動をもたらしました。世界的にもベストセラーとなった話題作です。障がいのある人も、ない人も同じ社会で生きています。一人一人の違いを個性ととらえ、尊重し合う気持ちが共生社会（共に生きる社会）には必要です。自閉症という個性をもった著者の話には是非ふれてみてください。高校の時期に読むと、考えの幅が広がるかもしれません。

### ② 北条高校生にメッセージ

本や新聞を読みましょう。自ら得た知識や学んだことは、成長の糧になります。「学生の時は忙しいから」と言い訳せず、空いた時間や朝読書の5分を大切にしてください。本や新聞を読むことで、知識も増え、考え方の幅も広がります。また、就職や進学の際に行われる面接でも「最近読んだ本は何ですか？」など本や時事問題に関連した質問をされることがあります。進路に向けての対策にもなりますので、積極的に取り組みましょう。「高校生」という貴重な時間を大切にしてください。